

地域公共交通確保維持改善事業について

1. 概要

生活交通の存続が危機に瀕している地域等において、地域の特性・実情に最適な移動手段が提供され、地域公共交通の確保・維持・改善に関する事業をいい、国がその事業に対して支援をするものです。

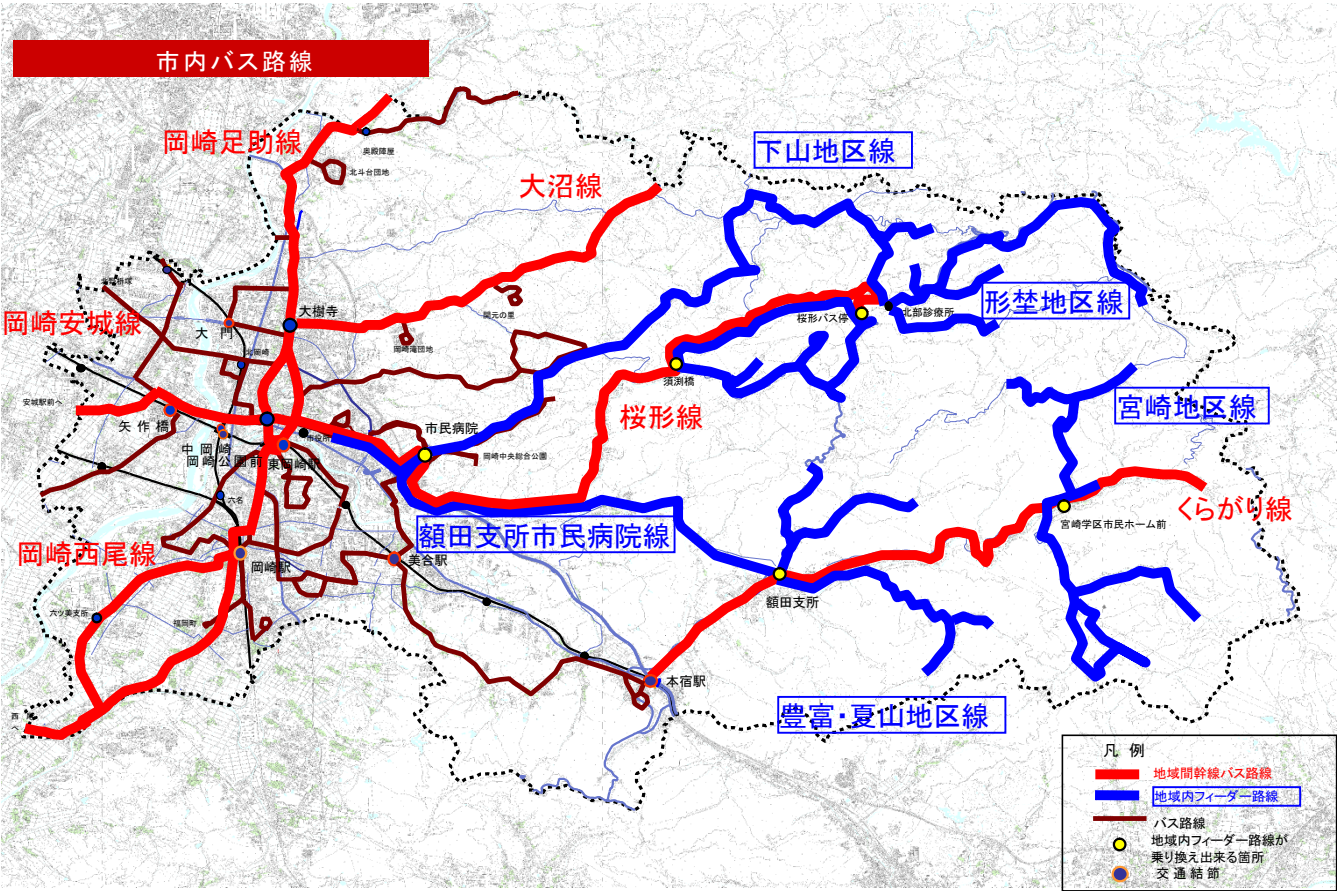
この事業支援には、幹線バス等の地域間交通ネットワークの支援と、当該幹線と接続する地域内のバス交通・デマンド交通の運行についての支援(地域内フィーダー系統補助)があります。

本市が策定するのは地域内フィーダー系統にかかる確保維持改善計画です。

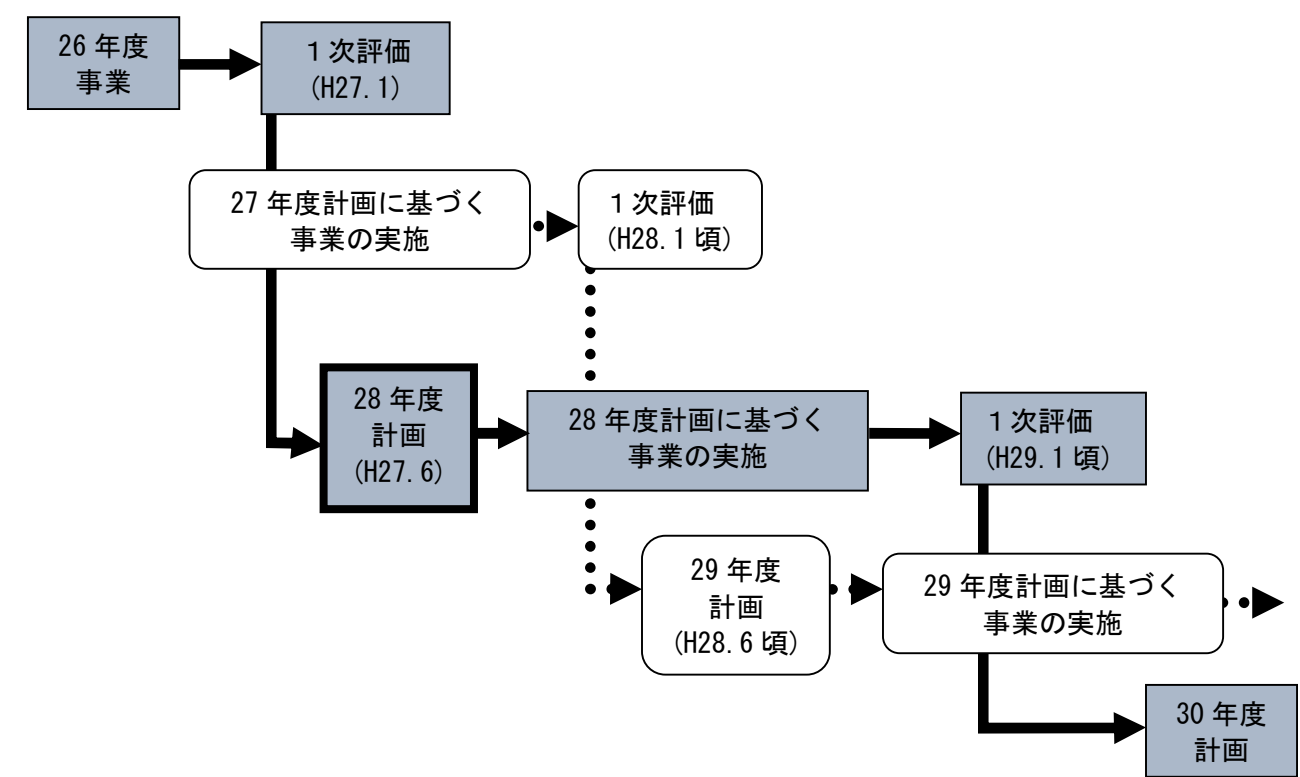
2. 対象路線及び補助対象事業

地域公共交通確保維持事業の区分	補助対象事業	補助対象路線	生活交通確保維持改善計画の策定主体
地域間幹線系統確保維持事業	地域をまたがる幹線バス交通ネットワークの確保維持事業	大沼線、岡崎西尾線、岡崎足助線、岡崎安城線、桜形線、くらがり線	県バス対策協議会
地域内フィーダー系統確保維持事業	地域をまたがる幹線交通ネットワークと接続される地域内交通の確保維持事業	額田支所市民病院線、下山地区線、形埜地区線、宮崎地区線、豊富・夏山地区線	岡崎市 (岡崎市交通政策会議にて協議)

【対象路線図】



3. 地域内フィーダー系統確保維持事業の流れ



※ 参考資料(平成 28 年度生活交通確保維持改善計画のポイント)

(1) 平成 28 年度地域内フィーダー系確保維持費国庫補助金 申請額(運行期間 H27. 10～H28. 9)

路線名	補助金申請額
額田支所市民病院線	2, 124, 000 円
下山地区線	1, 365, 000 円
形埜地区線	532, 000 円
宮崎地区線	502, 000 円
豊富・夏山地区線	161, 000 円
合計	4, 684, 000 円

(2) 26 年度事業実施の 1 次評価で出した課題点及び今後の改善点

- 課題点
- ・住民意見の聴取に努めたものの、利用者実態及び利用意向の把握が不十分な面があった。

- 今後の改善点
- ・運行に関するチラシの各戸配布等、地域住民と協働で新運行の周知を図っていく。
 - ・地域住民と協働で住民意見を聴取し、利用促進策を図っていく。

(3) 1 次評価に対しての 2 次評価結果

市街地、郊外、中山間部と多様な市域を抱えるなかで、鉄道や基幹バス路線、地域交通路線などにより公共交通網を整備のうえ、地域住民の要望把握、情報提供のほかバス事業者と定期的な会議を開催するなど、利用促進に向けた改善に努めている。